令和5年12月18日

大船渡湾内観測結果（No.9）

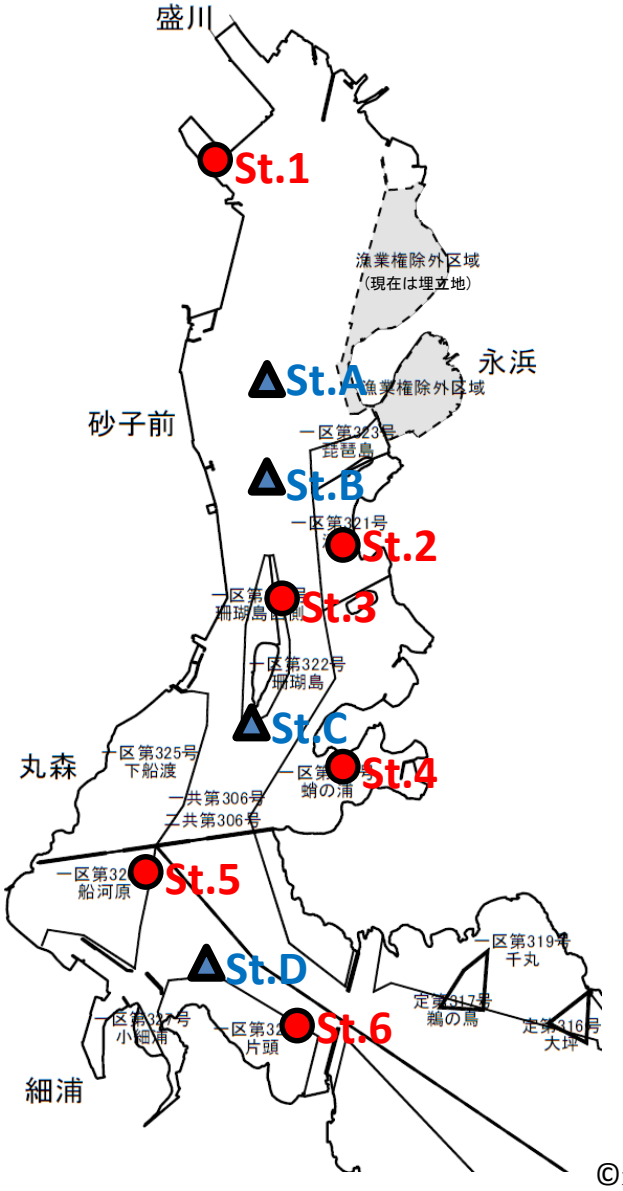
“今月の話題”
　湾内全域で水温が低下し、表層から底層までおおむね14～15℃台となりました。
　過去の結果と比較すると、1～2℃程度高くなりました。

12月14日に実施した大船渡湾内観測結果をお知らせします。

　湾内全域の水温は、17～19℃台だった前月より低下しており、おおむね14～15℃台となっていました。
　過去の結果（2013～2022年度の平均値）では、12月の水温が12～13℃台なので、1～2℃程度高いという結果になりました。
　透明度が湾内全域で前月より高くなりました。

海域名：大船渡湾
調査担当：水産技術センター、大船渡水産振興センター、大船渡市

観測点（St.）		1（湾奥）	2（清水）	3（珊瑚島）	4（蛸の浦）	5（船河原）	6（片頭）
観測年月日		令和5年12月14日					
観測時刻		11:13	11:28	10:53	10:38	10:27	10:13
水深（m）		8.7	24.1	29.3	17.6	27.4	38.6
透明度（m）		底まで	11.0	11.5	11.5	15.0	15.5
水色		5	4	4	4	4	4
水温（℃）	表層	15.1	14.0	14.7	13.9	14.7	14.4
	2.5m層	15.3	14.4	14.8	13.9	14.8	14.4
	10m層	－	14.3	14.8	13.8	14.8	14.5
	15m層	－	14.4	14.8	14.2	14.8	14.4
	底層	15.5	14.5	15.8	15.0	15.7	15.3
塩分	表層	33.46	33.18	33.72	33.49	33.73	33.62
	2.5m層	33.86	33.49	33.73	33.50	33.75	33.61
	10m層	－	33.64	33.77	33.50	33.79	33.66
	15m層	－	33.68	33.79	33.85	33.79	33.67
	底層	33.98	33.70	34.14	33.84	34.11	33.97
溶存酸素飽和度(%)	表層	87.9	95.1	90.9	92.5	92.7	93.5
	2.5m層	87.8	93.0	90.9	93.1	93.0	93.7
	10m層	－	92.5	91.1	94.8	92.8	93.7
	15m層	－	92.0	91.1	95.2	92.8	93.6
	底層	84.7	91.5	83.4	92.4	92.7	93.1

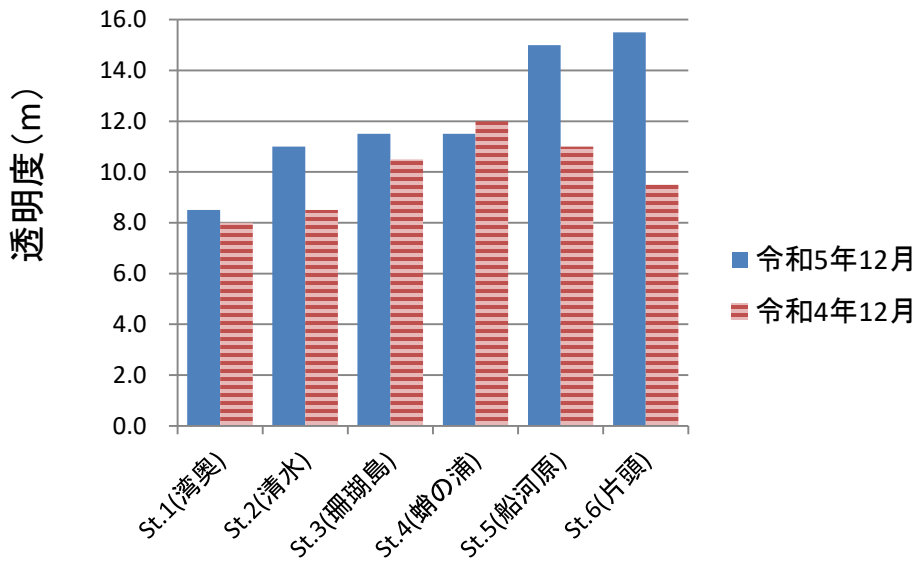


©岩手県（漁業権連絡図）

図1　大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6（○）において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
　St.AからSt.D（△）において表層0mから水深15mの水質を観測した。

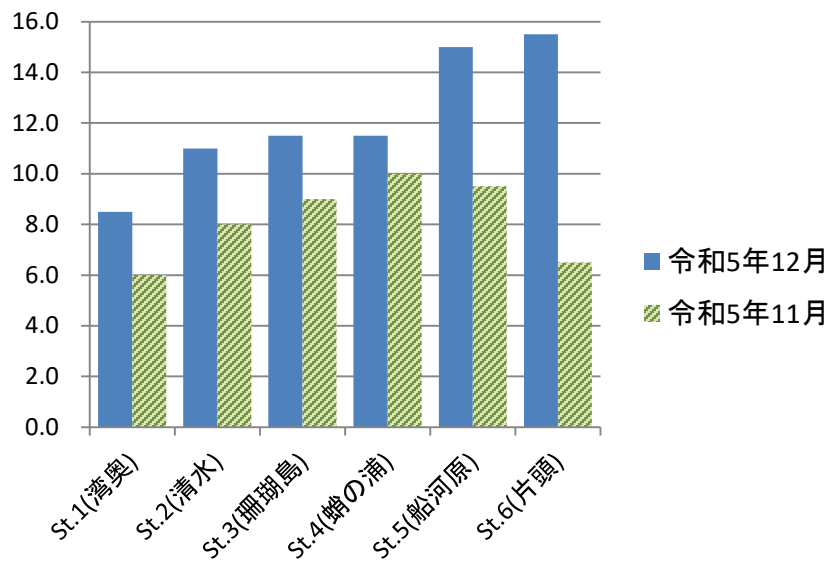
前年同月との比較



・St.1及び4で前年同月並み

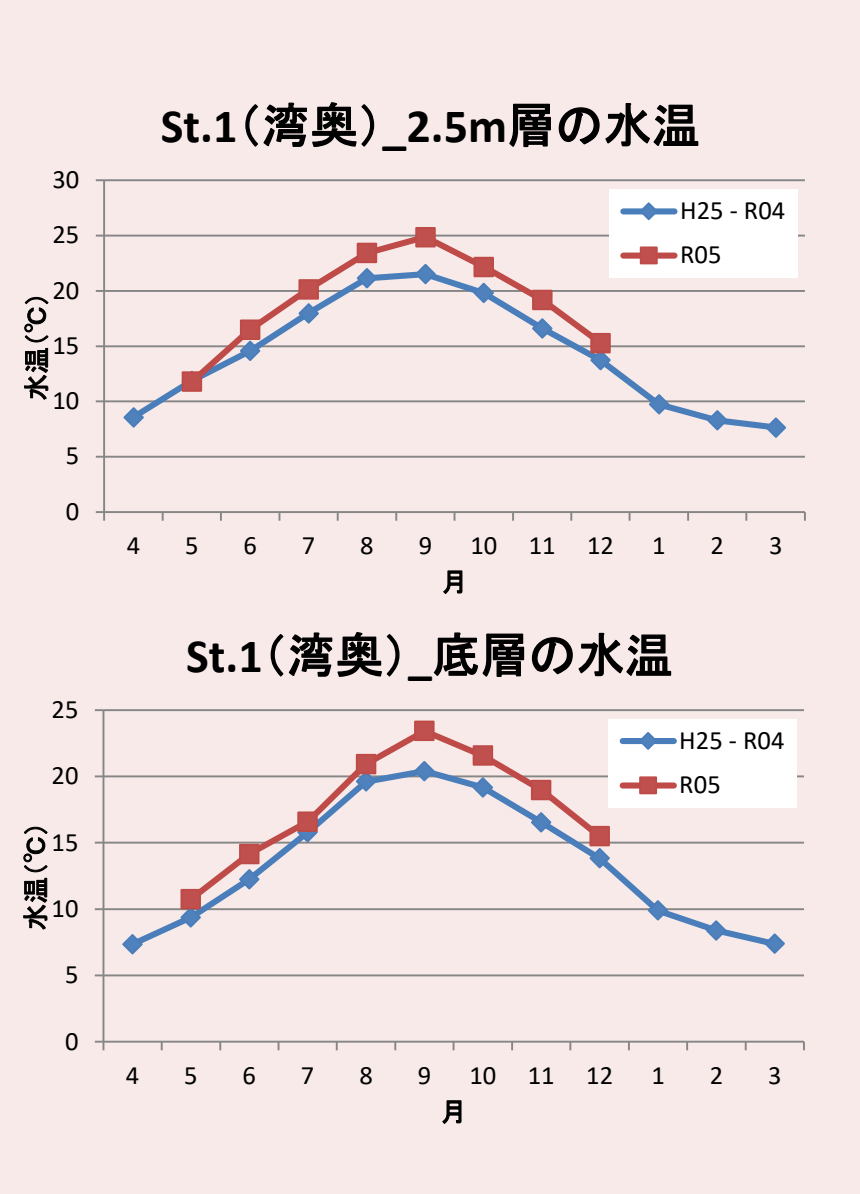
・St.2、3、5及び6で前年同月より高い

前月との比較



・全定点で前月より高い

図2　透明度の比較（前年同月、前月）



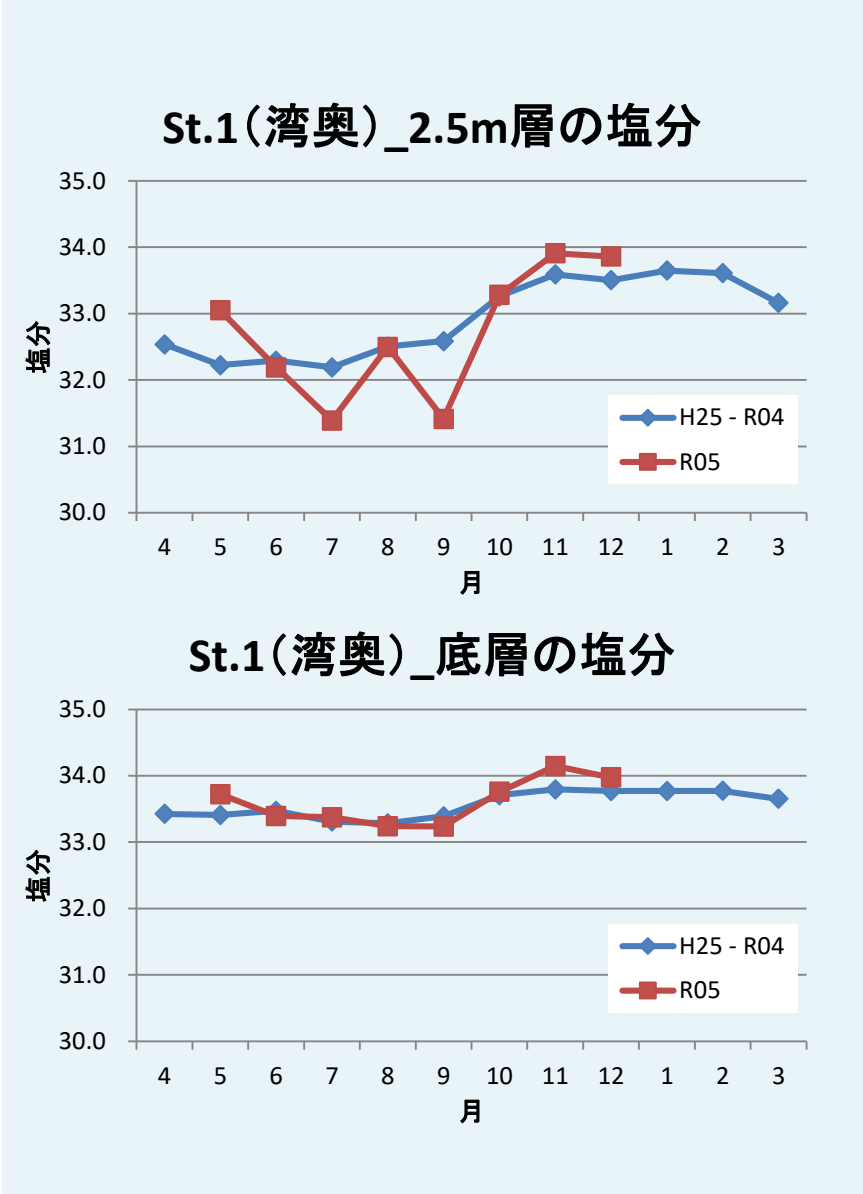
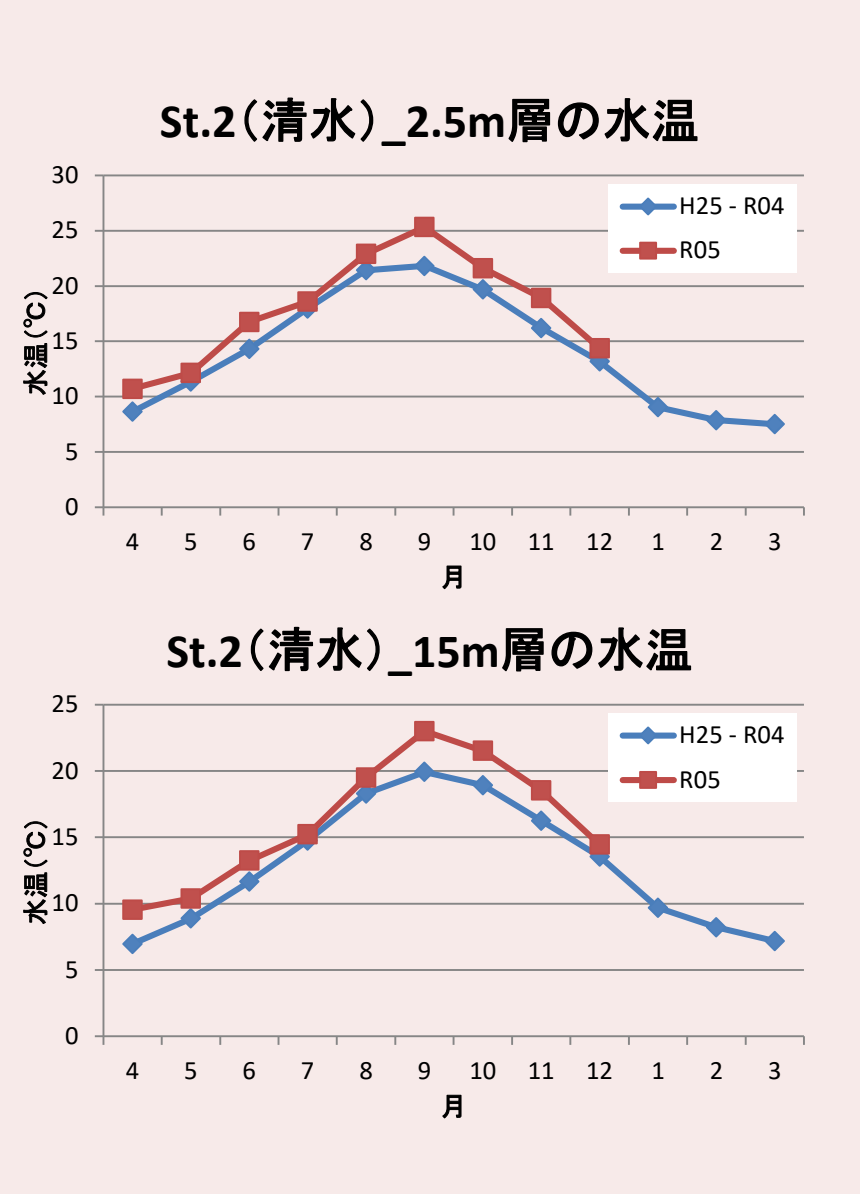


図3　St.1（湾奥）の水温及び塩分の推移

※St.1は水深10m未満



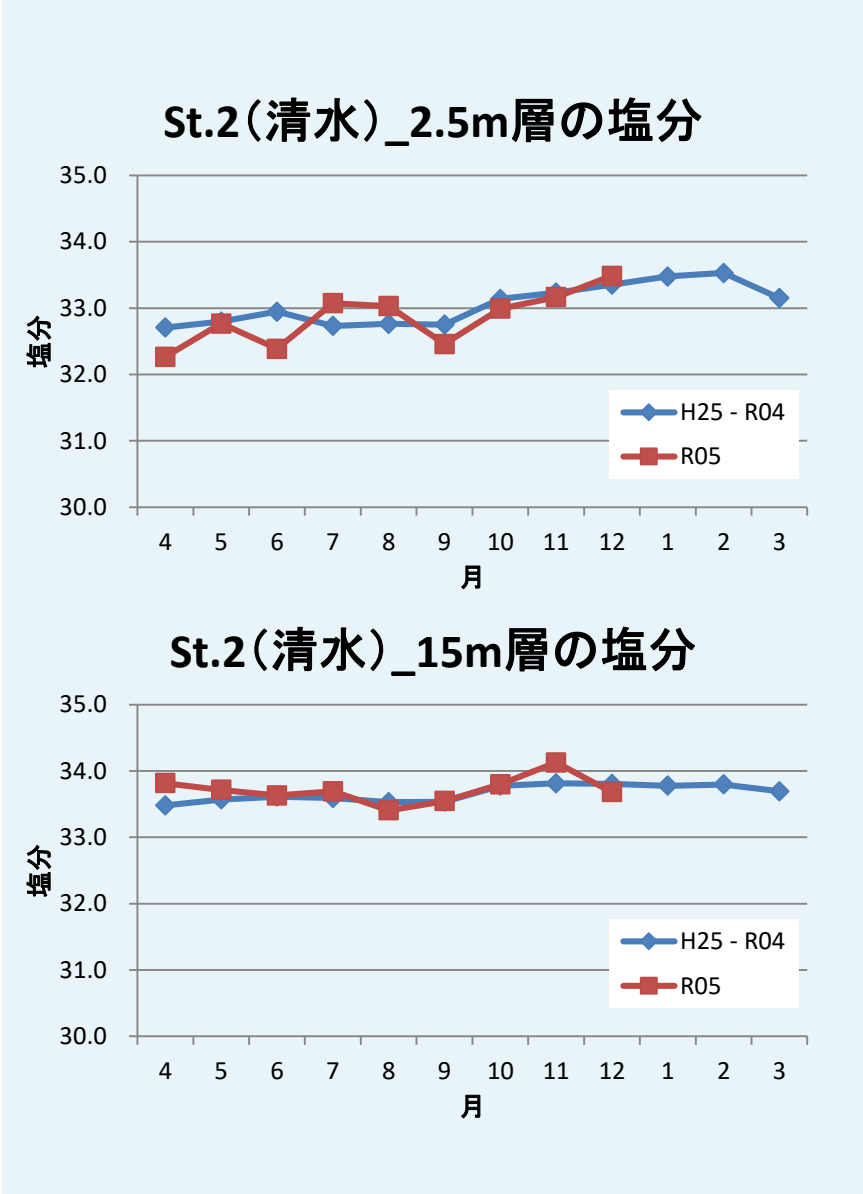


図4　St.2（清水）の水温及び塩分の推移

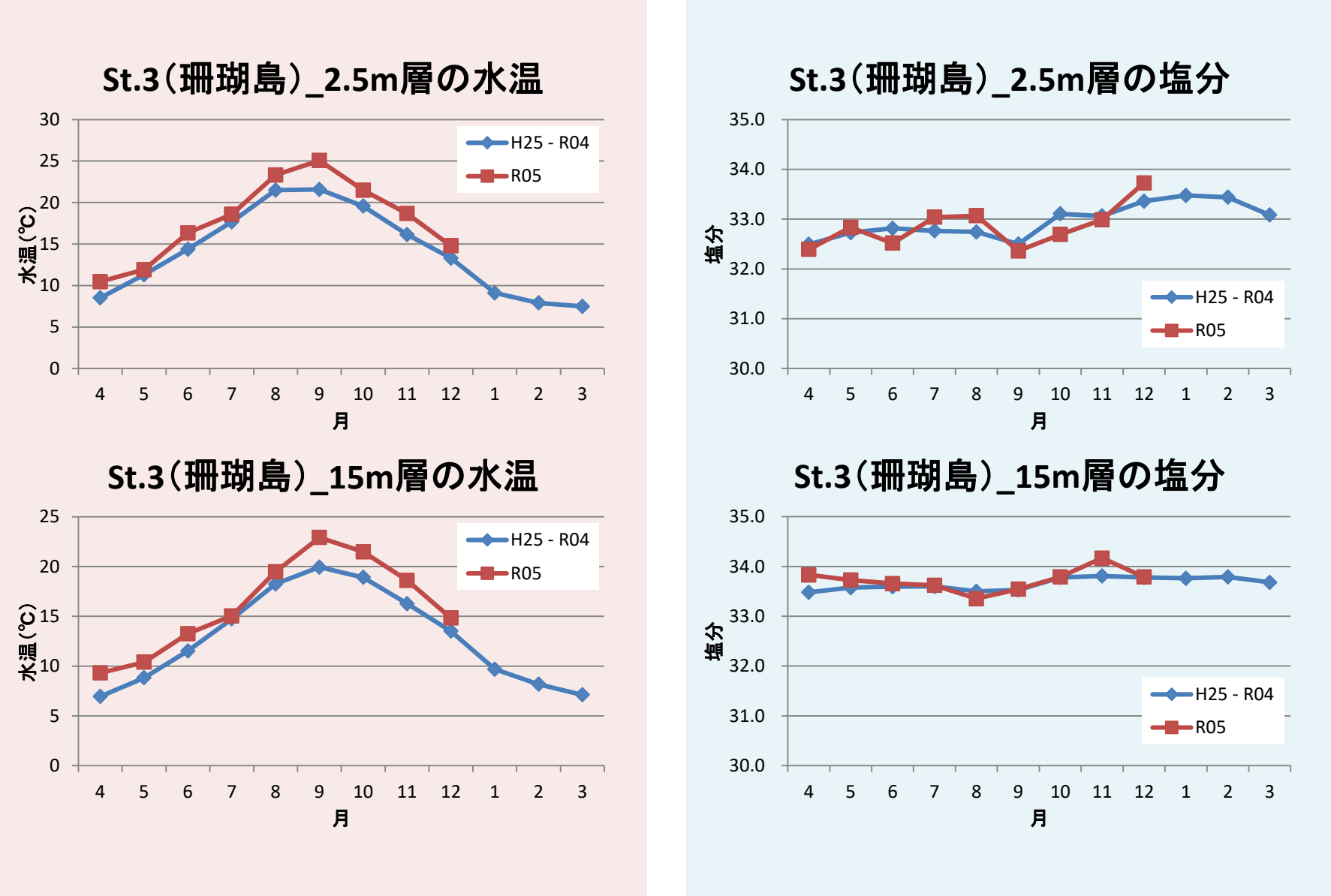
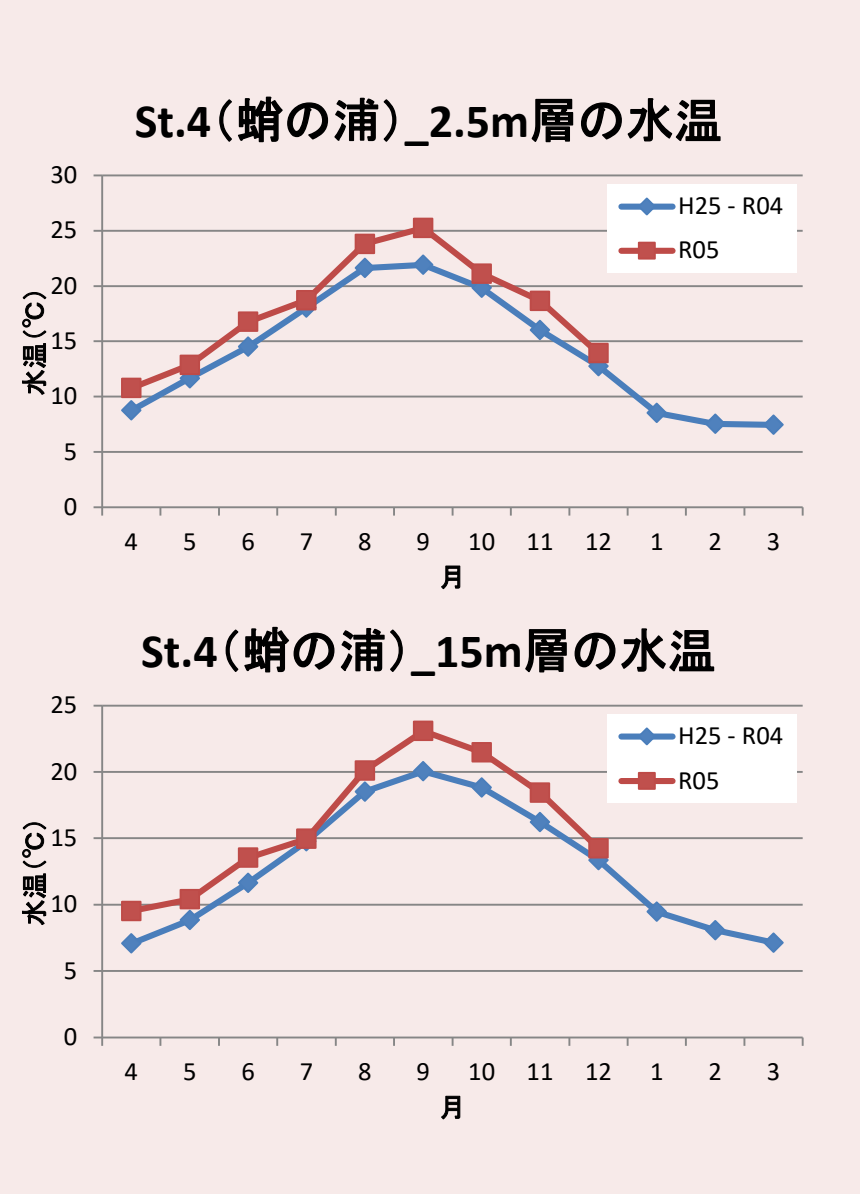


図5　St.3（珊瑚島）の水温及び塩分の推移



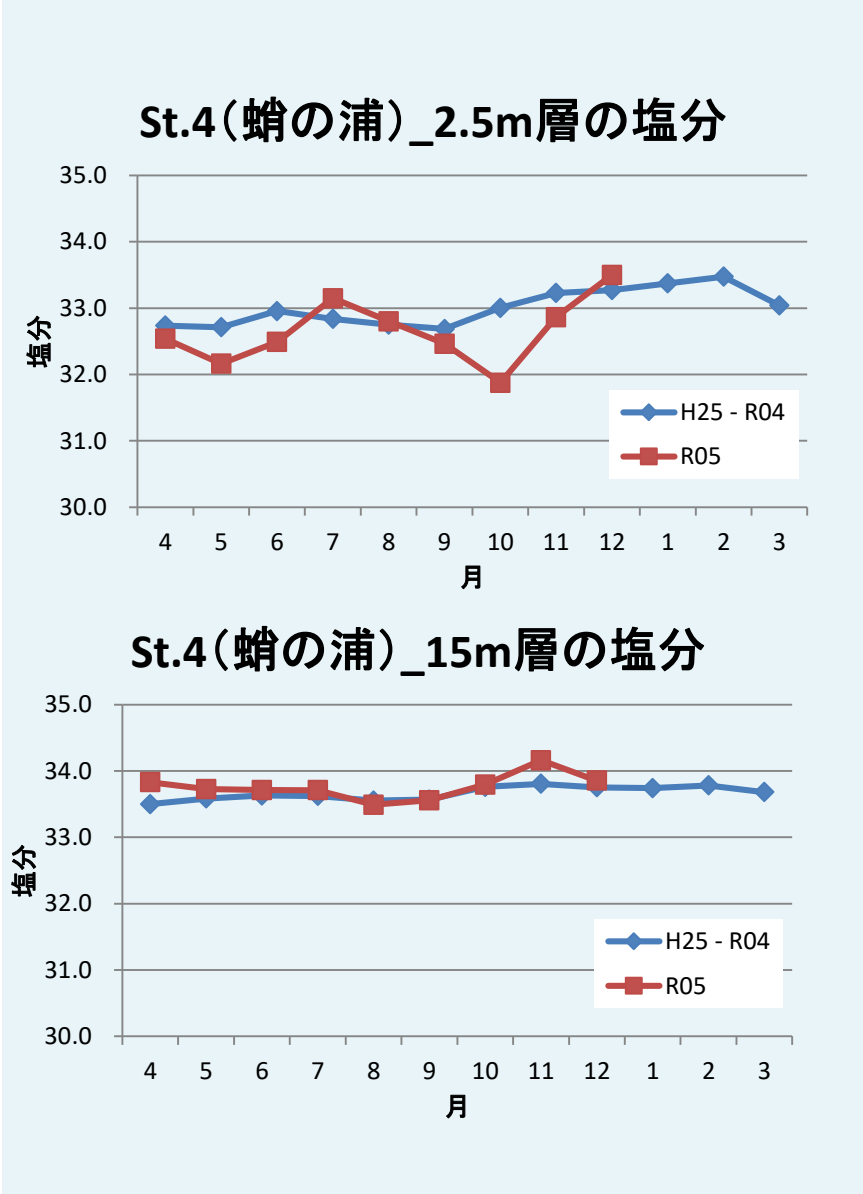


図6　St.4（蛸の浦）の水温及び塩分の推移

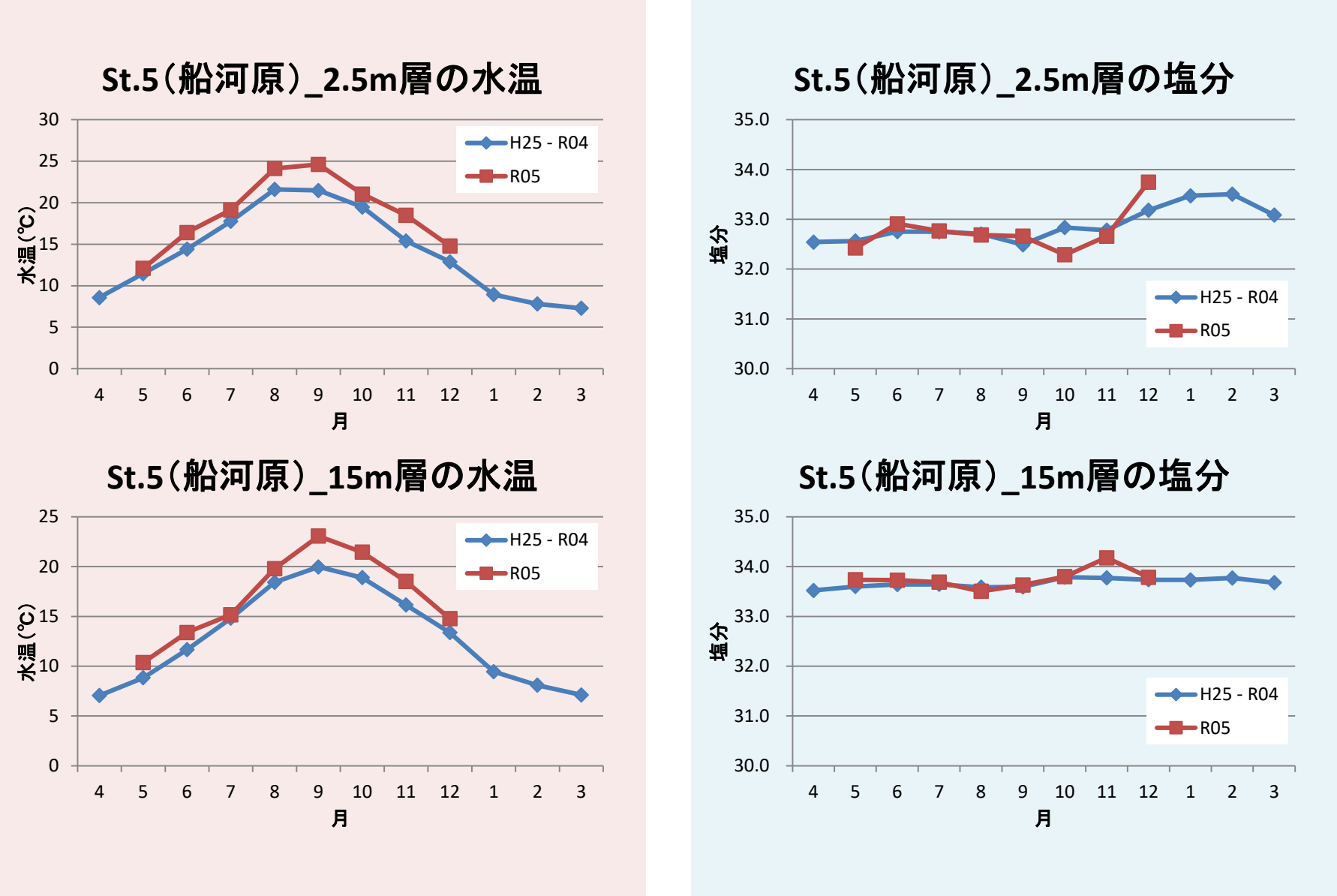


図7　St.5（船河原）の水温及び塩分の推移

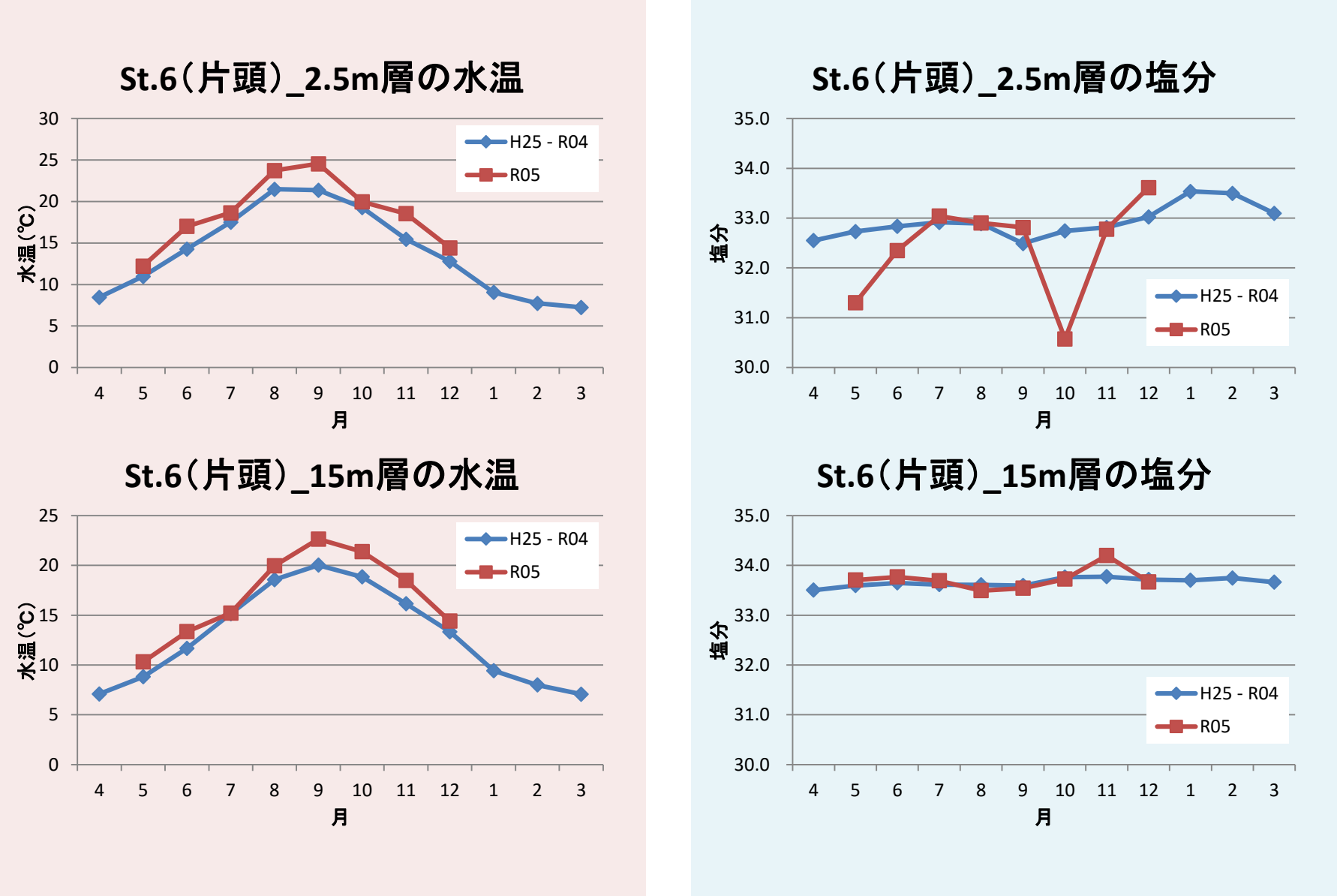
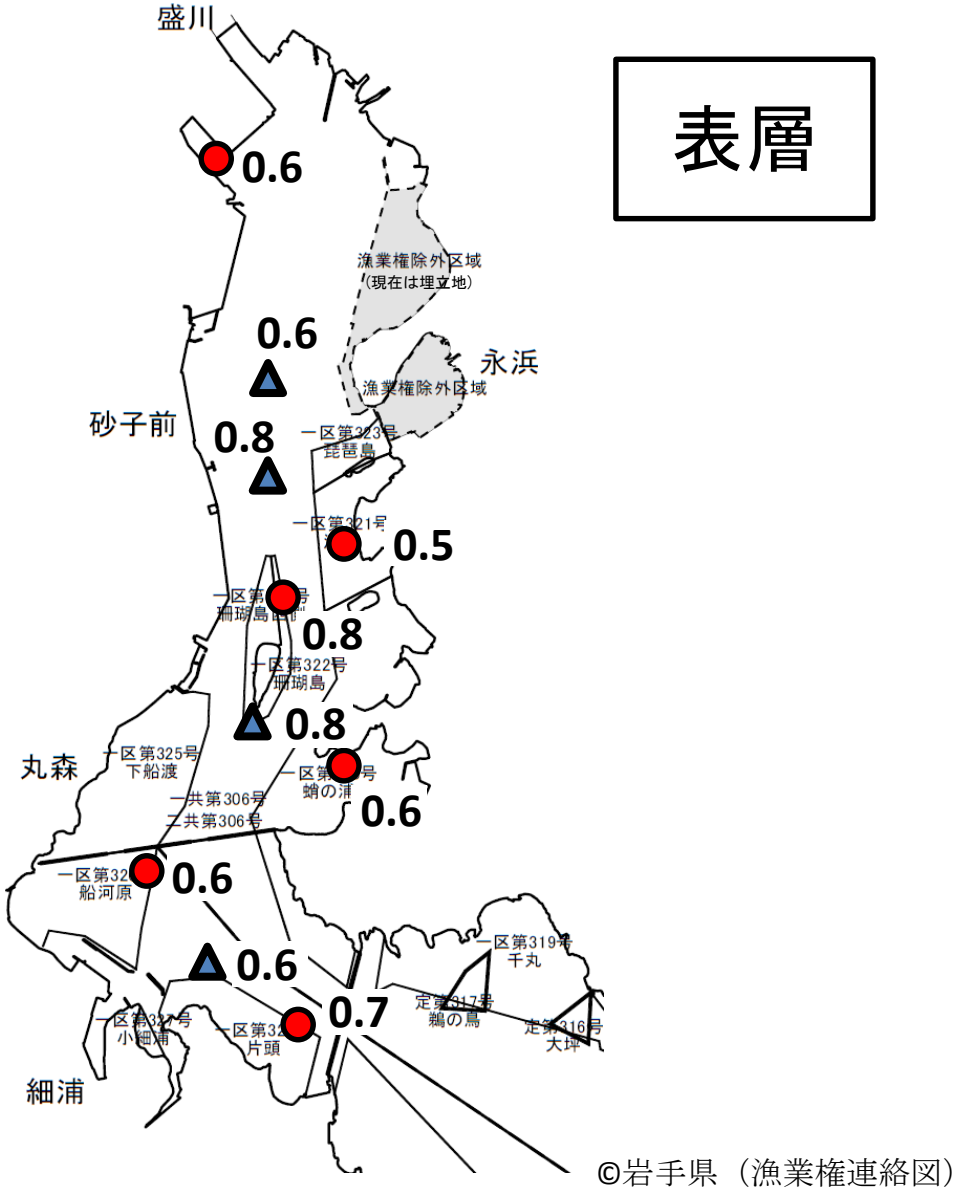


図8　St.6（片頭）の水温及び塩分の推移



©岩手県（漁業権連絡図）

図9　表層のクロロフィル蛍光値

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。

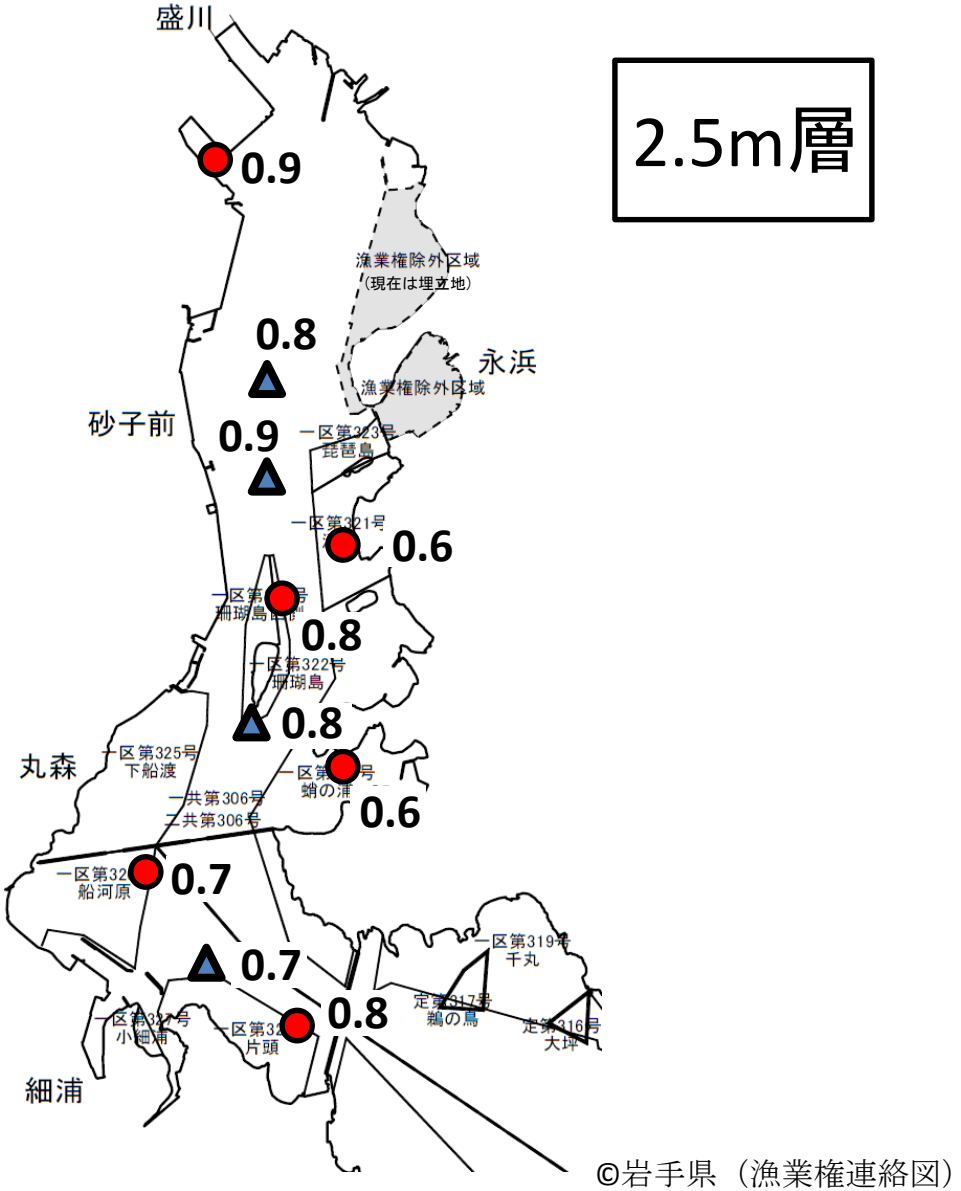
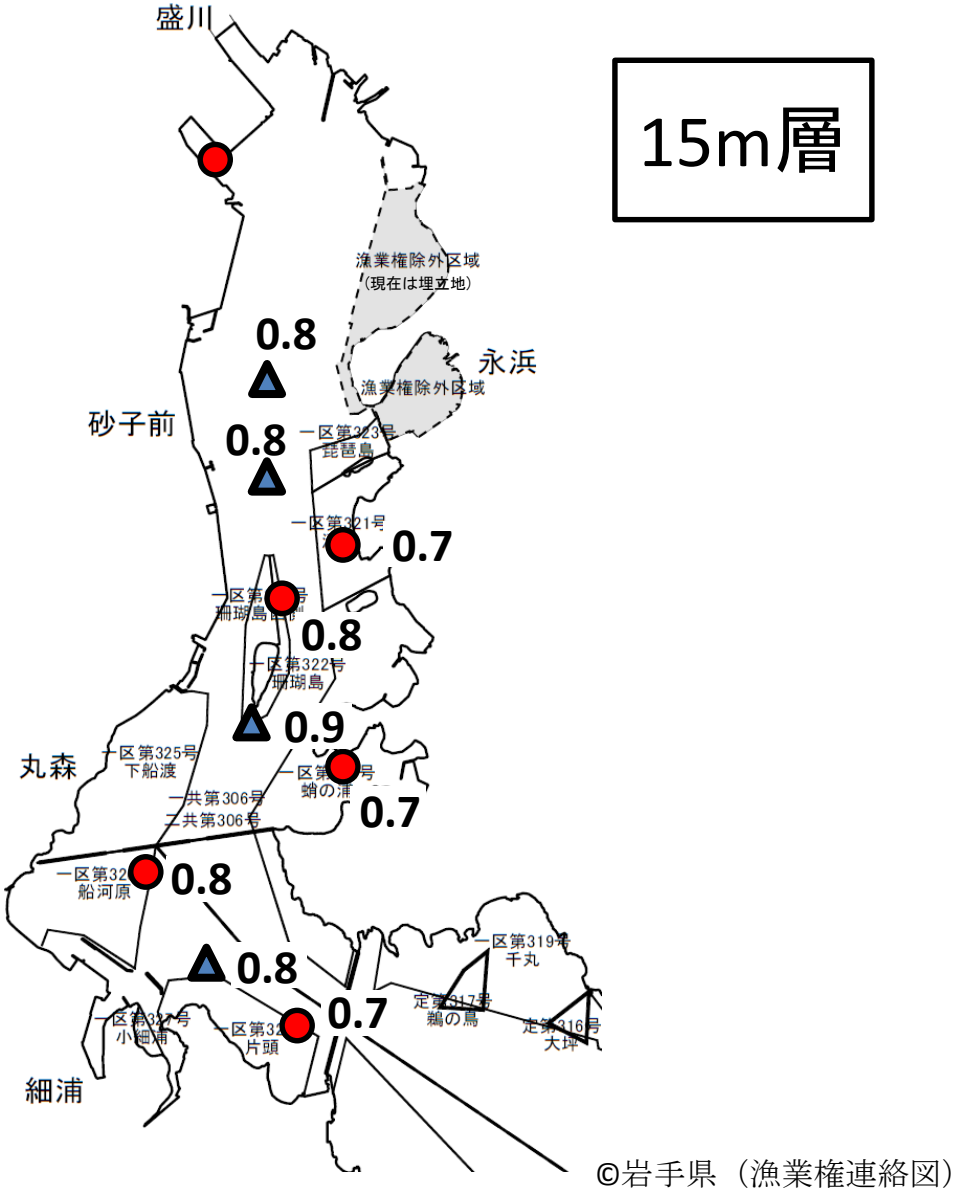


図10　2.5m層のクロロフィル蛍光値

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。



©岩手県（漁業権連絡図）

図11　15m層のクロロフィル蛍光値

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。St.1は水深約8mでした。